

Portal Manager Lite

操作マニュアル（初心者向け）

対象バージョン：v0.11.30

作成日：2026 年 7 月 26 日

コスモ企画

このマニュアルについて

このマニュアルは、WordPress のプラグイン「Portal Manager Lite」を、はじめて操作する方向けにまとめたものです。専門用語はできるだけ使わず、管理画面の操作手順を中心に説明しています。

プラグインを更新（バージョンアップ）しても、管理画面の基本的な使い方は大きく変わりません。困ったときは「7. よくあるトラブルと対処法」もあわせてご覧ください。

1. このプラグインでできること

Portal Manager Lite は、「本文 + サイドバー」の2カラムレイアウトを、どんな WordPress テーマ（デザインのテンプレート）を使っている、崩れずに同じ見たいで表示するためのプラグインです。

主にできることは次の3つです。

- 「施工例」「お知らせ」のような、独自の記事の種類（投稿タイプ）を、画面の操作だけで追加できる
- その記事の種類ごとに、一覧ページ（アーカイブページ）の見たい（カード・テキストなど）を選べる
- 記事ページの横に表示するサイドバー（最近の投稿・カテゴリー・アーカイブ）の内容を、記事の種類ごとに設定できる

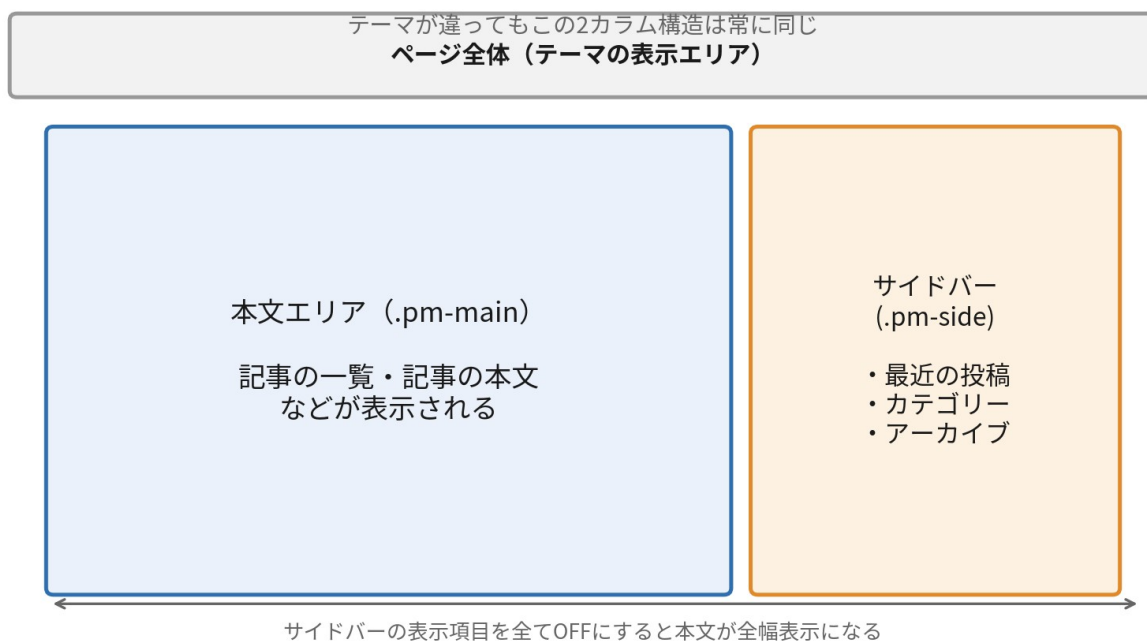


図1：本文 + サイドバーの2カラム構造（どのテーマでもこの形は変わりません）

💡 サイドバーの表示項目をすべてOFFにすると、サイドバー欄自体が表示されなくなり、本文が横幅いっぱいになり広がります。

2. 使い始める前に（テーマ側の設定）

このプラグインを使うページ（投稿の種類）は、あらかじめ WordPress のテーマ側の設定で「1カラム」「サイドバーなし」「全幅（または中央寄せ）」にしておく必要があります。

これは、プラグイン側では自動化していない、サイト構築時に一度だけ行う手動設定です。テーマ標準の機能に任せることで、画面が崩れにくくなります。

⚠️ 設定してもレイアウトが変わらない・表示が乱れて見える場合、まず「テーマ純正のサイドバーが本当に非表示になっているか」を確認してください。多くのテーマで、この確認漏れが原因になります。

⚠️ プラグインを更新（新しいバージョンに入れ替え）した直後は、WordPress の仕様でプラグインが自動的に無効化されることがあります。表示が反映されない場合は、まず「プラグイン」の一覧画面でこのプラグインが「有効化」されているかを確認してください。

3. 基本の使い方（全体の流れ）

はじめて使うときは、次の順番で進めるとスムーズです。



図2：基本の操作の流れ

1. プラグインをインストールし、有効化する
2. 「投稿タイプ管理」画面で、扱いたい記事の種類（施工例・お知らせなど）を登録する
3. 「表示設定（投稿タイプ別）」画面で、一覧ページとサイドバーの見た目を決める
4. 「サイト全体の設定」画面で、現在のテーマが正しく認識されているかを確認する

4. 管理画面の場所

プラグインを有効化すると、WordPressの管理画面（ダッシュボード）の左側メニューに「Portal Manager Lite」という項目が追加されます。この中に、設定を行う3つの画面がまとまっています。

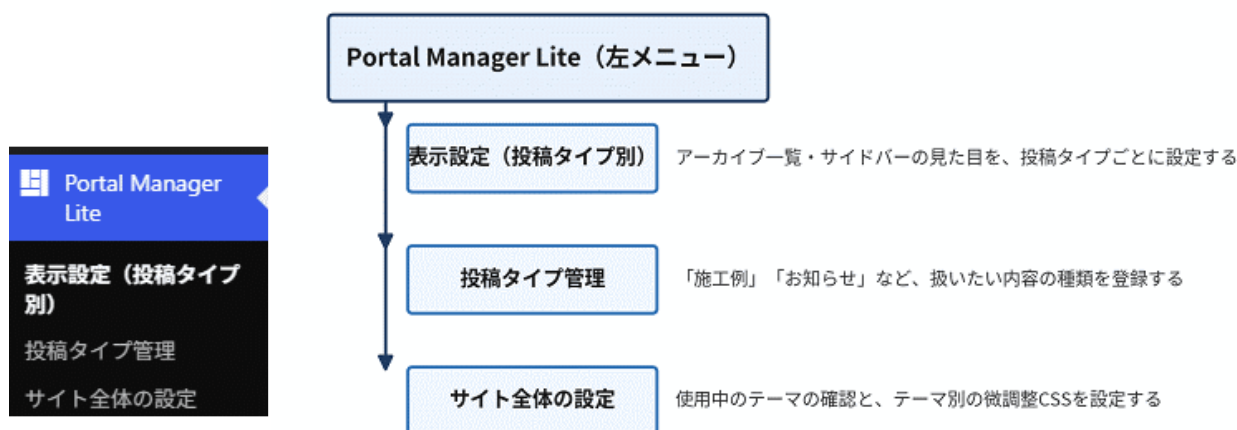


図3：「Portal Manager Lite」メニューの構成

5. STEP1：投稿タイプ管理（記事の種類を登録する）

「Portal Manager Lite」→「投稿タイプ管理」を開きます。ここでは「施工例」「お知らせ」のような、標準の「投稿」とは別の記事の種類（投稿タイプ）を追加できます。

操作手順

5. 「+ 新規追加」ボタンを押して、入力欄を1行増やす
6. 「投稿タイプ名」に、画面上に表示したい名前（例：施工例）を入力する

💡 記事の種類ごとに専用のカテゴリ機能も自動的に作成されます（例：「施工例」を登録すると「施工例のカテゴリ」という管理画面が自動で追加されます）。

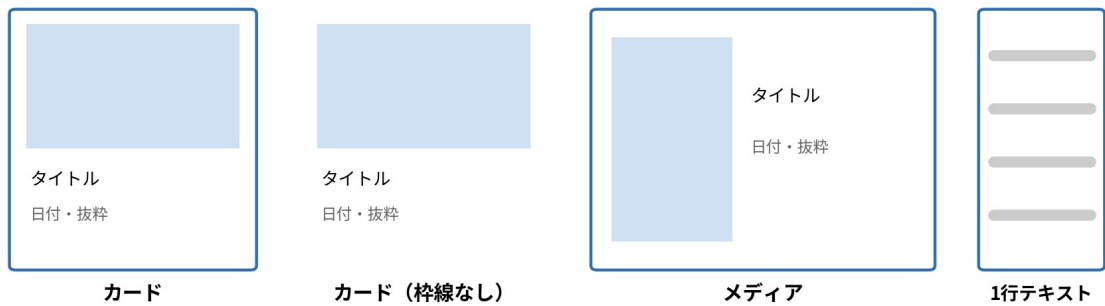
6. STEP2：表示設定（投稿タイプ別）

👉 タブを切り替えても、他のタブに入力した内容は消えません。最後に「保存」ボタンを1回押せば、すべてのタブの内容がまとめて保存されます。

記事の一覧ページ（カテゴリーページや、記事の種類ごとの一覧ページなど）に、記事をどう並べて表示するかを設定します。

[illegible]

アーカイブページのデザイン（4種類から選択）



※ 表示要素（画像・日付・抜粋・カテゴリ）のON/OFFや列数は投稿タイプごとに設定できます

図4：アーカイブページのデザイン4種類

項目	内容
アーカイブページのデザイン	「カード」「カード（枠線なし）」「メディア」「1行テキスト」の4種類から選ぶ
カラム数（最大・PC表示時）	パソコン画面で横に何列並べるかを指定（1～6）。画面が狭い場合は自動的に1列に切り替わる
表示件数（1ページあたり）	空欄の場合、WordPress 全体の設定（表示設定）に合わせた件数になる
表示要素	画像・日付・抜粋・カテゴリの表示 ON/OFF を個別に選べる（「1行テキスト」では画像・抜粋は表示されない）
抜粋の文字数	記事の内容から自動で切り出す文字数を指定する

6-2. サイドバー（最近の投稿・カテゴリー・アーカイブ）

記事ページの横に表示するサイドバーの内容を設定します。

サイドバーに表示する内容

☒ 最近の投稿

☒ カテゴリー

☒ アーカイブ（年別／月別）

全てOFFの場合、本文が全幅表示になります（.pm-side自体を出力しない設計）。

項目	内容
サイドバーに表示する内容	「最近の投稿」「カテゴリー」「アーカイブ（年別／月別）」を個別に ON/OFF。すべて OFF にすると本文が全幅になる
カテゴリーの表示ラベル	見出しの文字を自由に変更可能。空欄なら自動的に名前が使われる
最近の投稿に表示する情報	「日付/カテゴリー/タイトル（サムネイルなし）」または「カー

項目	内容
	ド（サムネイル/タイトル/日付/カテゴリー）」から選択
最近の投稿の表示ラベル	見出しの文字を自由に変更可能
表示する記事数	1〜20 件の範囲で指定
もっと見るリンク	リンク先 URL と表示テキストを設定。URL が空欄ならリンクは表示されない
アーカイブタイプ	「月別」または「年別」のどちらか一方を選択
アーカイブの表示形式	「リスト」または「プルダウン」から選択

7. STEP3：サイト全体の設定（テーマ）

「Portal Manager Lite」→「サイト全体の設定」を開きます。ここは、記事の種類に関係なく、サイト全体・テーマに関わる設定を行う画面です。

テーマ別調整CSS

新しいテーマで表示が崩れる場合、プラグイン本体の更新（新しいzipの配布）を待たずに、ここにCSSを追加するだけでその場で反映されます。`@layer pm-protect { }` で自動的に囲んで出力するので、セレクトと宣言（例：`.pm-layout { flex-wrap: wrap; }`）だけ 書けばOKです。カード写真枠の縦横比など、プラグインの核心部分（pm-baseレイヤーの `!important` ）はここからは上書きできない設計になっています。

対象テーマ

swell（現在検知中のテーマ用）

追加CSS

```
/* ===== SWELL専用：新築TOPへ戻るボタンの上部マージン調整 ===== */

/* パターンc：直前の画像側から間隔を作る場合（Aが効かない場合の代替） */
.pm-container img:last-of-type,
.pm-layout figure:last-of-type {
  margin-bottom: 20px !important;
}
```

空欄で保存すると、このテーマ用のCSSを削除します。

このテーマ用のCSSを保存

登録済みのテーマ別CSS一覧

現在保存されているテーマ別調整CSSの一覧です。「現在のテーマ」と表示されている行が、上の「追加CSS」欄と同じ内容です。

テーマ	内容	操作
astra	/* Astra対策CSS（テーマスラッグ: astra） 「テーマ別調整CSS」欄にそのまま貼り付けてください。 【今回DevToolsで確認できた本当の原因】 main.site-main の中の .ast-row が、Astraのグリッド型プログレイアウト用の flexコンテナになっている。本来はここに「1記事=1カラム」の子要素	削除

画面の内容

- 現在使用しているテーマが、自動的にどう認識されているかが表示される（「検証済み」または「未検証のため汎用対応中」）

- テーマ別調整 CSS：新しいテーマで表示が崩れる場合に、プラグイン本体を更新せずにその場で見た目を調整できる入力欄
- 手動でテーマ名を指定する：自動認識が実際のテーマと食い違う場合のみ、手動で上書きできる欄（通常は空欄のままで問題ない）

⚠ 「テーマ別調整 CSS」は、CSS（見た目を指定する専門的なコード）の知識がある方向けの機能です。内容が分からない場合は無理に入力せず、担当の制作会社・開発者にご相談ください。

💡 この画面の CSS 欄は空欄のまま保存すると、そのテーマ用に保存していた内容が削除されます。誤って削除しないようご注意ください。

8. よくあるトラブルと対処法

症状	主な原因と対処法
更新後、表示が反映されない	WordPress の仕様で、プラグイン更新のたびに自動的に無効化されることがあります。「プラグイン」一覧画面で、有効化されているか確認してください。
サイドバーの位置がテーマ標準のものとズレて見える・二重に出ている	テーマ側の「サイドバーなし」設定がまだ有効になっていない可能性があります。「2. 使い始める前に」の手順を確認してください。
一覧ページの写真が粗く見える	元の画像の解像度が小さいことが原因です。管理画面の投稿一覧に「⚠ 解像度不足」の表示が出ている記事は、600×450px 以上の画像に差し替えると改善します。
新しく登録した記事の種類の 一覧ページが 404（ページが見つかりません）になる	多くの場合は一時的なものです。改善しない場合は、担当の開発者に「投稿タイプ管理」の保存し直しを依頼してください。
新しいテーマに変えたら表示が崩れた	「サイト全体の設定」画面で、テーマの認識状況（検証済み／未検証）を確認してください。未検証の場合は、担当の開発者に調整を依頼してください。

9. 困ったときは

このマニュアルで解決しない操作方法や表示の不具合については、コスモ企画の担当者・開発者へお問い合わせください。その際、次の情報を伝えるとスムーズです。

- 使用している WordPress テーマの名前
- 困っている画面の URL、または管理画面のどの設定画面か
- プラグインのバージョン番号（本マニュアルの表紙に記載のバージョン）